



県内 Stage 1 へ移行も油断は禁物！ 新型コロナウイルス感染症

令和3年2月17日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和3年第6週分・2月8日～2月14日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、2月14日時点で415,782例となり、6,952例の死亡が確認されています。現在の新規感染者数は減少傾向（図；折れ線グラフ）ですが、依然として重症者数、死亡者数は高い水準にあります。このため、政府は10都府県を対象として、3月7日まで緊急事態宣言を発出しています。

県内では、今週新たに7例の新規感染者が報告され、2月14日時点の累積感染者数は895例になりました。

感染者数、入院者数ともに減少が続いており、2月5日からは、「ロードマップ」に定める指標がステージ2の基準をすべて下回りました。そのため、富山県では2月15日から、新型コロナウイルス感染症対策の警戒レベルをStage 1へ移行しました。現在は、新規感染者数は減少傾向（図；棒グラフ）ですが、散発的な新規陽性者の発生が続いています。年度末の人の往来が増える時期に向け、引き続き感染症防止対策に注意が必要です。

年度末に向け、再び感染が拡大しないように、①卒業式等の行事は感染防止を徹底し、人と人の間隔を十分に確保する等、適切な開催方法を検討する、②謝恩会や送別会等は、飲食時の感染リスクに配慮した形式を検討する、③卒業旅行等は時と場所が分散される「分散型旅行」を図り、なるべく混雑しない平日に、いつもの仲間で感染対策を講じた上で行動することが肝要です。

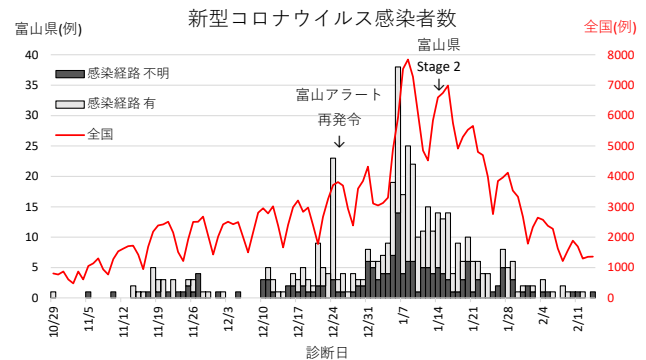
発熱等の症状があり医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(厚生センター、保健所等)にご連絡ください。

《全数報告の感染症》

- 指定感染症 新型コロナウイルス感染症 7件
- 二類感染症 結核 1件（第5週診断分：70歳代、女性）
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件（50歳代、女性、O157、VT1VT2）
- 五類感染症 梅毒 2件（①第4週診断分：20歳代、男性、早期顕症梅毒I期
②40歳代、男性、早期顕症梅毒I期）

《定点報告の感染症》

今週の県内上位7疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週（増減）	先週
1位	感染性胃腸炎	1.97（↓）	2.48
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.59（↑）	1.45
3位	咽頭結膜熱	0.41（↑）	0.34
	突発性発しん	0.41（↑）	0.21
5位	マイコプラズマ肺炎	0.20（↑）	0.00
6位	RSウイルス感染症	0.07（↑）	0.03
	手足口病	0.07（↑）	0.00



○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第6週 令和3年2月8日～令和3年2月14日）

分類	疾患	今週報告分（第6週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	2		3	2		7	15	46	53	11	183	308
二類感染症	結核							2	1	4	1	4	12
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1			1			1			1
四類感染症	E型肝炎											1	1
	レジオネラ症											1	1
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1		1
	侵襲性肺炎球菌感染症									1		2	3
	水痘（入院例）											1	1
	梅毒					1	1		1	1		2	4
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ			1			1			4			4
				0.08			0.02						
	RSウイルス感染症			1		1	2			1		4	5
				0.13		0.10	0.07						
	咽頭結膜熱	2		7		3	12	10	6	36	1	13	66
		0.50		0.88		0.30	0.41						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		34		11	46	6	7	95	9	37	154
		0.25		4.25		1.10	1.59						
	感染性胃腸炎	15	7	21		14	57	100	49	85	8	75	317
		3.75	2.33	2.63		1.40	1.97						
	水痘							1	3	5	2	3	14
	手足口病			2			2			3	1	1	5
				0.25			0.07						
	伝染性紅斑			1			1			3		2	5
				0.13			0.03						
	突発性発しん	1	1	4	4	2	12	7	4	21	9	21	62
	0.25	0.33	0.50	1.00	0.20	0.41							
ヘルパンギーナ	1					1	6					6	
	0.25					0.03							
流行性耳下腺炎									3		2	5	
流行性角結膜炎									1			1	
無菌性髄膜炎											1	1	
マイコプラズマ肺炎			1			1			1	4		5	
			1.00			0.20							
インフルエンザによる入院患者（*）					2	2					4	4	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

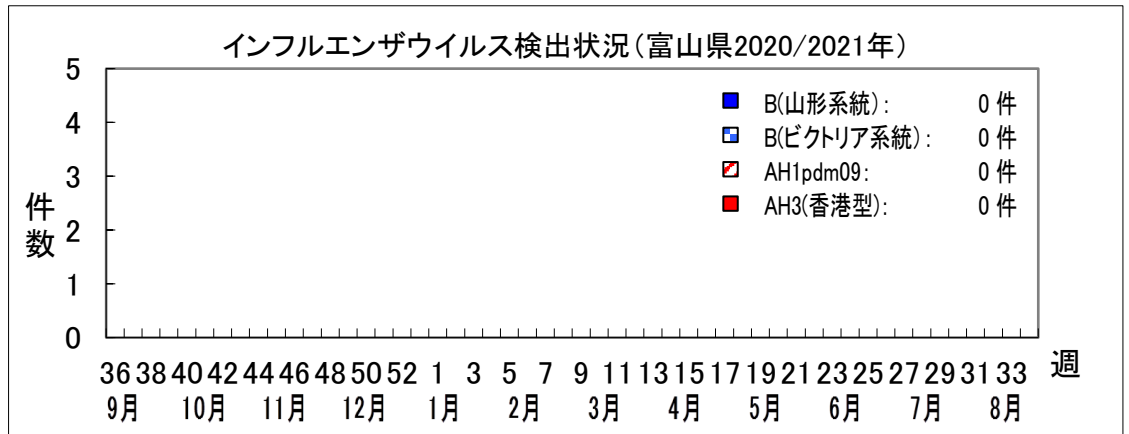
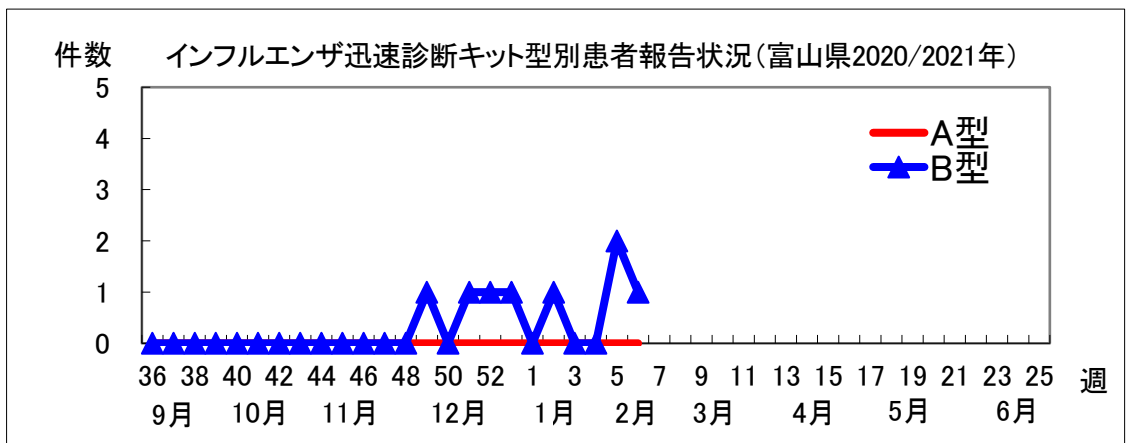
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、B型が100.0%となっています。

第6週(2/8~2/14)：富山県 0.02人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	0 / 7	0	0	0	0
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	1 / 13	0	1	0	1
砺波	0 / 7	0	0	0	0
富山市	0 / 16	0	0	0	0
富山県	1 / 48 ^{※1}	0	1	0	1
富山県累計(2020年36週~)		0	8	1	9

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が1か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



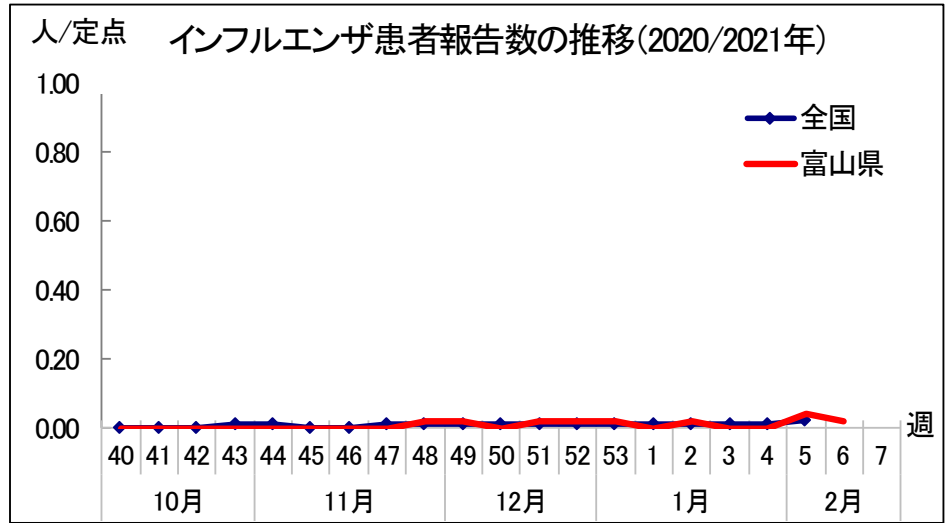


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第6週 (2/8~2/14) : 富山県 0.02 人/定点

新川 HC (0.00)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (0.08)、砺波 HC (0.00)、富山市 HC (0.00)

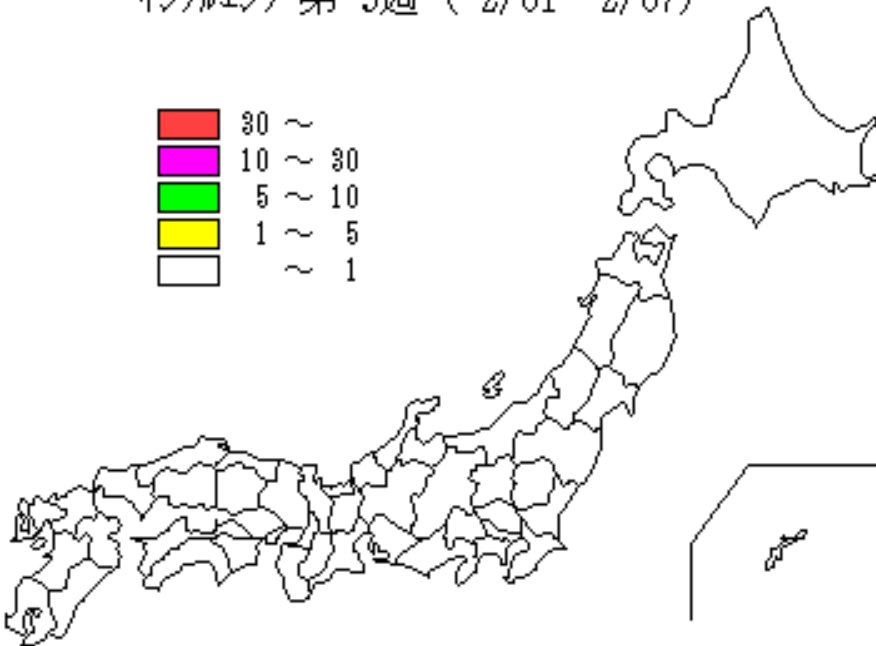
全国・富山県共にインフルエンザ患者報告数は少ない状態が続いています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第5週 (2/1~2/7)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.02 人です。

インフルエンザ第5週 (2/01-2/07)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.03	滋賀県	0.03
青森県	0.00	京都府	0.02
岩手県	0.02	大阪府	0.01
宮城県	0.00	兵庫県	0.00
秋田県	0.00	奈良県	0.00
山形県	0.98	和歌山県	0.00
福島県	0.01	鳥取県	0.00
茨城県	0.01	島根県	0.08
栃木県	0.03	岡山県	0.00
群馬県	0.00	広島県	0.03
埼玉県	0.01	山口県	0.01
千葉県	0.01	徳島県	0.00
東京都	0.01	香川県	0.00
神奈川県	0.01	愛媛県	0.00
新潟県	0.00	高知県	0.02
富山県	0.04	福岡県	0.01
石川県	0.00	佐賀県	0.00
福井県	0.00	長崎県	0.00
山梨県	0.00	熊本県	0.00
長野県	0.00	大分県	0.00
岐阜県	0.00	宮崎県	0.00
静岡県	0.00	鹿児島県	0.00
愛知県	0.01	沖縄県	0.00
三重県	0.13	全国	0.02

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年1月分）

		1月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			1		7	8			1		7	8
				0.33		1.75	0.80						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症					2	2					2	2
						0.50	0.20						
	尖圭コンジローマ					2	2					2	2
						0.50	0.20						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	1	4		6	13	2	1	4		6	13
		2.00	1.00	4.00		6.00	2.60						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。